

平成30年3月期 決算短信補足資料

◇ 平成30年3月期 連結業績の総括	P.2
◇ 平成30年3月期 セグメント別連結業績	P.3
◇ 平成30年3月期 連結財政状態	P.4
◇ 平成30年3月期 連結業績のポイント	P.5
◇ 平成30年3月期 連結キャッシュ・フロー	P.6
◇ 平成31年3月期の見通し	P.7
◇ 中期経営計画の進捗(平成29年4月～平成32年3月)	P.8
◇ 主力商品紹介	P.9

平成30年3月期 連結業績の総括

■売上高■

人手不足や物流コストの上昇が進行するなか、お客様の節約志向を背景とした販売競争が一層激しくなるなど厳しい環境が続くも、調理加工食品部門・食肉事業が堅調に推移したことなどから、前年同期比3.1%の増収。

■営業利益■

物流コストや動力費の上昇、主力のハム・ソーセージ部門の売上高の減少などから利益率が低下し、前年同期比△49.7%の減益。

■親会社株主に帰属する当期純利益・配当■

営業利益が低調に推移したことなどの結果、計画を下回り前年同期比△43.9%の減益。
1株当たり配当金は、8円を予定。

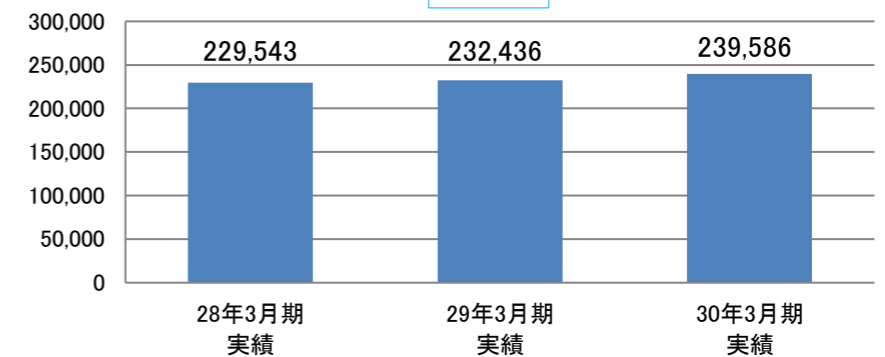
(単位：百万円)

	28年3月期 実績	29年3月期 実績	30年3月期 計画	30年3月期				
				実績	対前年 増減額	対前年 増減率	対計画 増減額	対計画 増減率
売上高	229,543	232,436	240,000	239,586	7,149	3.1%	△ 413	△ 0.2%
営業利益 (売上高比率)	4,168 (1.8%)	4,710 (2.0%)	3,000 (1.3%)	2,370 (1.0%)	△ 2,340 (△1.0%)	△ 49.7%	△ 629 (△0.3%)	△ 21.0%
経常利益 (売上高比率)	4,543 (2.0%)	5,378 (2.3%)	3,300 (1.4%)	2,820 (1.2%)	△ 2,557 (△1.1%)	△ 47.6%	△ 479 (△0.2%)	△ 14.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高比率)	2,617 (1.1%)	3,284 (1.4%)	2,100 (0.9%)	1,842 (0.8%)	△ 1,442 (△0.6%)	△ 43.9%	△ 257 (△0.1%)	△ 12.3%
1株当たり 当期純利益	19.85円	25.00円	16.02円	14.08円	△10.92円	-	△1.94円	-
1株当たり配当金	7円	8円	8円	8円	-	-	-	-
配当性向(%)	35.3%	32.0%	-	56.8%	-	-	-	-

※計画：平成29年11月10日発表連結業績予想

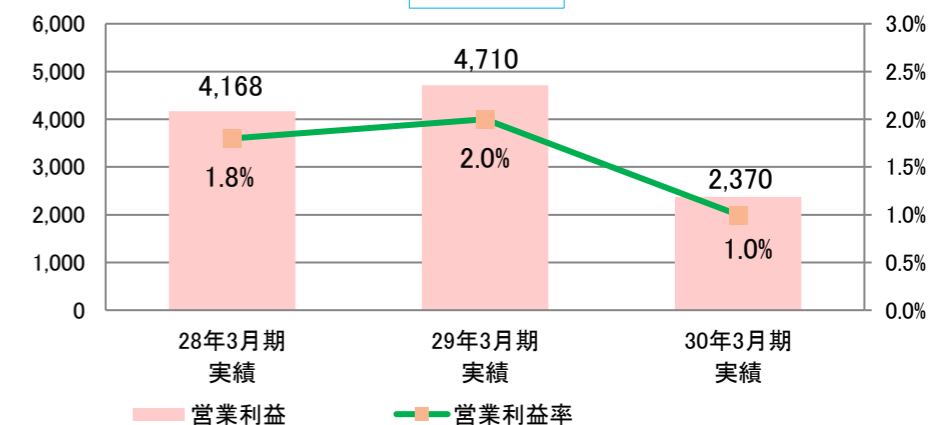
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

営業利益



平成30年3月期 セグメント別連結業績

(単位:百万円)

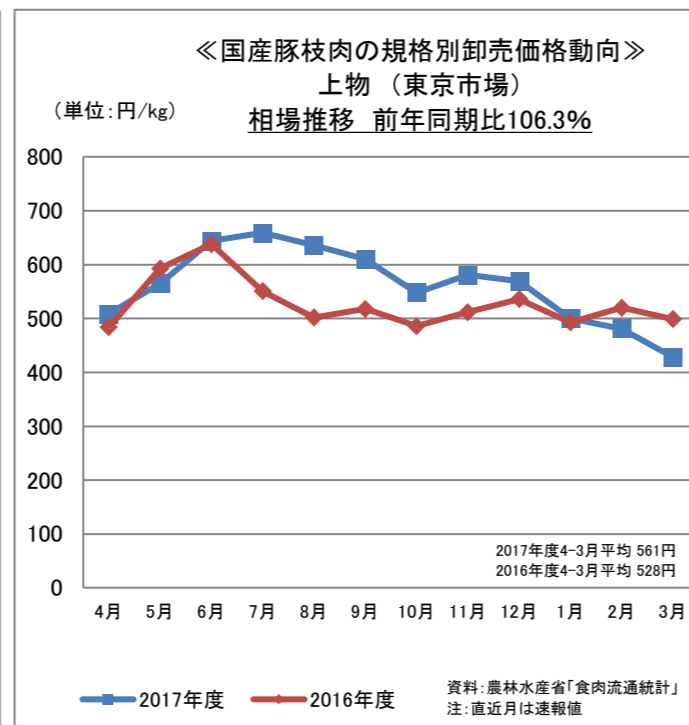
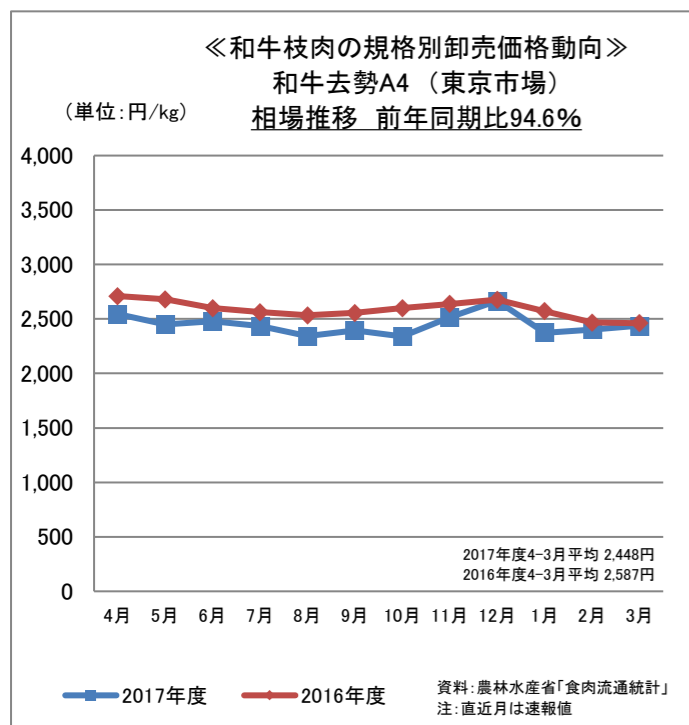
	28年3月期 実績	29年3月期 実績	30年3月期 実績		
				対前年 増減額	対前年 増減率
加工食品事業	161,952	163,057	165,290	2,233	1.4%
ハム・ソーセージ	89,142	86,997	85,480	△ 1,516	△ 1.7%
調理加工食品	72,809	76,059	79,809	3,749	4.9%
食肉事業	67,225	69,219	74,136	4,917	7.1%
その他	365	160	159	△ 0	△ 0.4%
売上高	229,543	232,436	239,586	7,149	3.1%
加工食品事業 (売上高比率)	3,590 (2.2%)	2,848 (1.7%)	683 (0.4%)	△ 2,164 (△ 1.3%)	△ 76.0% -
食肉事業 (売上高比率)	426 (0.6%)	1,682 (2.4%)	1,528 (2.1%)	△ 154 (△ 0.3%)	△ 9.2% -
その他	151	179	158	△ 21	△ 12.0%
営業利益 (売上高比率)	4,168 (1.8%)	4,710 (2.0%)	2,370 (1.0%)	△ 2,340 (△ 1.0%)	△ 49.7% -

■加工食品事業■

- ・ハム・ソーセージ部門では、「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」や「いつも新鮮ロースハム」などの主力商品を中心に販売促進を実施。「ブリットパリットあらびきポーク」などの新商品を積極的に投入し売上拡大を図る。中元・歳暮ギフトは、「王覇」「煌彩」シリーズを中心に拡販に努める。これらの施策を行うも、お客様の節約志向を背景に販売競争がますます激しくなるなど厳しい環境が続く、当部門の売上高は前年同期比△1.7%の減収。
- ・調理加工食品部門では、「ビストロ倶楽部ビーフカレー」シリーズなどのレトルトカレー商品が順調に推移。リニューアルした「ドリアソース」シリーズや、「サラダチキン切落とし」などの新商品を積極的に投入し拡販を行う。デザート・飲料類は、「3層仕立てのジュレパルフェ」が好調に推移。「TAPIOCA TIME」シリーズは販売促進を実施。当部門の売上高は前年同期比4.9%の増収。

結果、当セグメントの売上高は前年同期比1.4%の増収。
営業利益は、物流コストや動力費の上昇、主力のハム・ソーセージ部門の売上高の減少から、前年同期比△76.0%の減益。

【資料:枝肉規格別卸売価格動向】



■食肉事業■

- ・国産牛肉は相場が前年を下回る状況で推移するなかで販売数量を拡大し、売上高は前年を上回る。
米国産チルド牛肉は販売数量・売上高ともに好調に推移。
- ・国産豚肉はブランド豚肉の販売に注力するも販売数量は伸び悩む。
米国産チルド豚肉は販売数量が拡大し売上高が伸長。

結果、当セグメントの売上高は、前年同期比7.1%の増収。
営業利益は、国産豚肉の収益が伸び悩んだことなどから、前年同期比△9.2%の減益。

平成30年3月期 連結財政状態

(単位:百万円)

	28年3月期 実績	29年3月期 実績	30年3月期 実績	対前期末
				増減額
現金及び預金	17,001	16,370	8,709	△ 7,661
売上債権	24,639	25,925	29,048	3,122
たな卸資産	14,218	14,845	16,050	1,204
その他の資産	2,842	2,350	2,286	△ 64
流動資産合計	58,701	59,492	56,094	△ 3,397
有形固定資産	48,056	51,806	56,135	4,329
無形固定資産	737	1,083	1,774	690
投資その他の資産	17,026	16,957	18,064	1,107
固定資産合計	65,820	69,847	75,974	6,127
資産合計	124,522	129,339	132,069	2,729

	28年3月期 実績	29年3月期 実績	30年3月期 実績	対前期末
				増減額
仕入債務	21,859	23,348	23,329	△ 19
有利子負債	14,597	13,983	14,915	932
その他の負債	15,743	15,717	16,840	1,123
負債合計	52,199	53,049	55,085	2,036
株主資本	69,596	71,968	70,815	△ 1,152
その他の包括利益累計額	2,330	3,883	5,692	1,808
非支配株主持分	396	438	476	38
純資産合計	72,322	76,290	76,984	693
負債純資産合計	124,522	129,339	132,069	2,729

※有利子負債 = 借入金 + リース債務

■設備投資・減価償却費の状況■

(単位:百万円)

	28年3月期 実績	29年3月期 実績	30年3月期 実績	対前年
				増減額
設備投資	5,716	9,880	10,850	970
減価償却費	5,206	5,442	5,688	246

■自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況■

(単位:百万円)

	28年3月期 実績	29年3月期 実績	30年3月期 実績	対前期末
				増減額
自己資本	71,926	75,852	76,507	655
自己資本比率(%)	57.8%	58.6%	57.9%	△ 0.7%
D/Eレシオ(%)	21.0%	19.4%	21.1%	1.7%

※D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 株主資本

◆総資産は、現金及び預金が減少するも、売上債権、有形固定資産、投資有価証券が増加したことなどから、前期末比2,729百万円増加。

◆設備投資は、前年同期比970百万円増加の10,850百万円を実施。

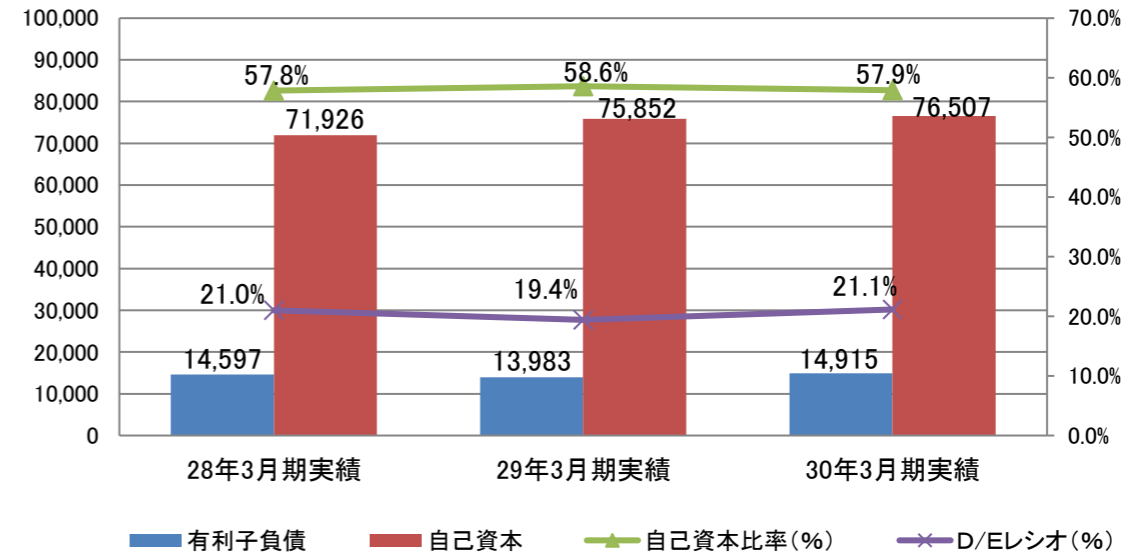
◆負債は、退職給付に係る負債が減少するも、有利子負債が増加したことなどから、前期末比2,036百万円増加。

◆純資産は、自己株式の取得や剰余金の配当があるも、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などから、前期末比693百万円増加。

◆自己資本比率は、前期末比△0.7%低下し、D/Eレシオは、1.7%上昇。

有利子負債・自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況

(単位:百万円)



平成30年3月期 連結業績のポイント

増 減 要 因

(単位:百万円)

	28年3月期 実績	29年3月期 実績	30年3月期 実績	対前年	
				増減額	増減率
売上高	229,543	232,436	239,586	7,149	3.1%
売上総利益 (売上高比率)	52,469 (22.9%)	53,967 (23.2%)	52,642 (22.0%)	△ 1,325 (△ 1.2%)	△ 2.5% -
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	48,300 (21.0%)	49,256 (21.2%)	50,272 (21.0%)	1,015 (△ 0.2%)	2.1% -
営業利益 (売上高比率)	4,168 (1.8%)	4,710 (2.0%)	2,370 (1.0%)	△ 2,340 (△ 1.0%)	△ 49.7% -
営業外損益	374	667	450	△ 216	-
営業外収益	907	1,085	832	△ 253	-
営業外費用	532	418	381	△ 36	-
経常利益 (売上高比率)	4,543 (2.0%)	5,378 (2.3%)	2,820 (1.2%)	△ 2,557 (△ 1.1%)	△ 47.6% -
特別損益	△ 749	△ 605	248	854	-
特別利益	203	725	542	△ 183	-
特別損失	953	1,331	293	△ 1,038	-
税金等調整前当期純利益	3,794	4,772	3,069	△ 1,702	△ 35.7%
法人税等合計	1,115	1,441	1,185	△ 256	-
当期純利益	2,678	3,331	1,884	△ 1,446	-
非支配株主に帰属する 当期純利益	61	46	42	△ 4	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,617	3,284	1,842	△ 1,442	△ 43.9%

■売上総利益■

主力のハム・ソーセージ部門の売上高減少や動力費の上昇などにより、前年同期比△2.5% (△1,325百万円) の減益。
売上総利益率は、22.0% (前年同期比△1.2%低下)。

■販売費及び一般管理費■

前年同期比2.1% (1,015百万円) の増加。
対売上高比率は、21.0% (前年同期比△0.2%低下)。
売上高増加や物流コストの上昇などに伴い配送費が、前年同期比5.5% (1,426百万円) の増加。

(単位:百万円)

	28年3月期 実績	29年3月期 実績	30年3月期 実績	対前年	
				増減額	増減率
人件費	12,314	12,118	11,559	△ 558	
配送費	24,837	25,732	27,158	1,426	
その他	11,148	11,405	11,553	148	
合計	48,300	49,256	50,272	1,015	

■営業外損益■

(単位:百万円)

	28年3月期 実績	29年3月期 実績	30年3月期 実績	対前年	
				増減額	増減率
受取利息・配当金 その他	322 584	305 780	304 528	△ 1 △ 252	
営業外収益合計	907	1,085	832	△ 253	
支払利息 その他	214 318	206 212	182 199	△ 24 △ 12	
営業外費用合計	532	418	381	△ 36	

■特別損益■

(単位:百万円)

	28年3月期 実績	29年3月期 実績	30年3月期 実績	対前年	
				増減額	増減率
固定資産処分益 投資有価証券売却益	105 98	55 669	190 351	134 △ 318	
特別利益合計	203	725	542	△ 183	
固定資産処分損 減損損失	208 285	359 128	247 15	△ 111 △ 112	
特別退職金	-	842	26	△ 816	
投資有価証券評価損	-	1	3	2	
関係会社整理損	298	-	-	-	
退職給付制度終了損	160	-	-	-	
特別損失合計	953	1,331	293	△ 1,038	

平成30年3月期 連結キャッシュ・フロー

■営業活動によるCF■

運転資金の増加による減少要因や法人税等の支払いがあるも、税金等調整前当期純利益の計上などから、3,152百万円増加。

■投資活動によるCF■

固定資産や投資有価証券の売却による収入があるも、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産取得による支出などから、△7,554百万円減少。

■財務活動によるCF■

自己株式の取得や配当金の支払い、有利子負債の返済などから、△3,258百万円減少。

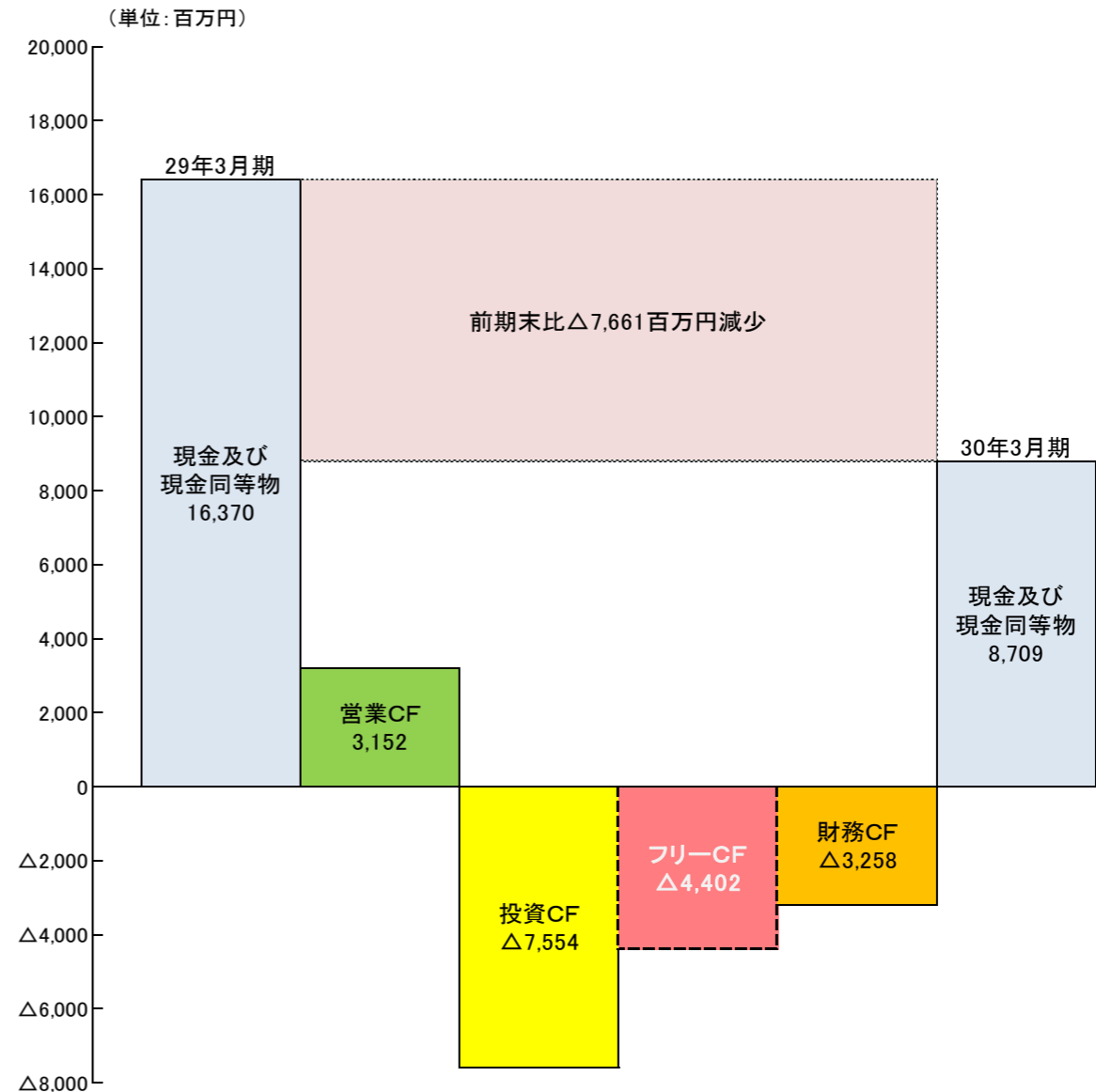
(単位:百万円)

	29年3月期 実績	30年3月期	
		実績	対前年 増減額
営業活動によるCF	8,758	3,152	△ 5,606
投資活動によるCF	△ 5,716	△ 7,554	△ 1,838
フリー・キャッシュ・フロー ※1	3,042	△ 4,402	△ 7,444
財務活動によるCF	△ 3,672	△ 3,258	413
現金及び現金同等物の増減額 ※2	△ 630	△ 7,661	△ 7,030
現金及び現金同等物残高	16,370	8,709	△ 7,661

■平成30年3月期 連結キャッシュ・フローの主な内訳■

(単位:百万円)

	29年3月期 実績	30年3月期	
		実績	対前年 増減額
◆営業活動によるCF◆			
・税金等調整前当期純利益	4,772	3,069	△ 1,702
・減価償却費	5,442	5,688	246
・運転資金	△ 383	△ 4,384	△ 4,000
・その他	△ 1,071	△ 1,220	△ 149
◆投資活動によるCF◆			
・固定資産の取得による支出	△ 7,128	△ 8,680	△ 1,551
・固定資産の売却による収入	432	819	386
・その他	979	306	△ 672
◆財務活動によるCF◆			
・有利子負債増減	△ 2,743	△ 257	2,485
・配当金の支払額	△ 920	△ 1,051	△ 130
・自己株式の取得による支出	△ 1	△ 1,943	△ 1,942
・その他	△ 6	△ 6	△ 0



※1 フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

※2 現金及び現金同等物の増減額には現金及び現金同等物の増減額に係る換算差額を含む。

平成31年3月期の見通し

■通期見通し■

(単位:百万円)

	29年3月期 実績	30年3月期 実績	31年3月期 計画	対前年	
				増減額	増減率
売上高	232,436	239,586	250,000	10,413	4.3%
営業利益 (売上高比率)	4,710 (2.0%)	2,370 (1.0%)	3,000 (1.2%)	629 (0.2%)	26.6% -
経常利益 (売上高比率)	5,378 (2.3%)	2,820 (1.2%)	3,300 (1.3%)	479 (0.1%)	17.0% -
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高比率)	3,284 (1.4%)	1,842 (0.8%)	2,100 (0.8%)	257 (0.0%)	14.0% -
1株当たり 当期純利益	25.00円	14.08円	82.30円	-	-
1株当たり配当金	8円	8円	35円	-	-

※当社は、平成30年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合をする予定であるため、平成31年3月期(予想)の1株当たり当期純利益及び1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成31年3月期(予想)の1株当たり当期純利益は16.46円、1株当たり配当金は7円となります。

■セグメント別 売上高、営業利益見通し■

(単位:百万円)

	29年3月期 実績	30年3月期 実績	31年3月期 計画	対前年	
				増減額	増減率
加工食品事業	163,057	165,290	173,000	7,709	4.7%
食肉事業	69,219	74,136	76,850	2,713	3.7%
その他	160	159	150	△ 9	△ 6.2%
売上高	232,436	239,586	250,000	10,413	4.3%
加工食品事業 (売上高比率)	2,848 (1.7%)	683 (0.4%)	1,150 (0.7%)	466 (0.3%)	68.2% -
食肉事業 (売上高比率)	1,682 (2.4%)	1,528 (2.1%)	1,750 (2.3%)	221 (0.2%)	14.5% -
その他	179	158	100	△ 58	△ 36.8%
営業利益 (売上高比率)	4,710 (2.0%)	2,370 (1.0%)	3,000 (1.2%)	629 (0.2%)	26.6% -

通 期 見 通 し

景気は緩やかな回復が期待されるものの、当社グループを取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少に伴う国内消費構造の変化や、競合他社との販売競争激化など、依然として厳しい状況が続くものと思われまます。

このような状況の下、当社グループは、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業へ向かって、あるべき姿を模索し、志を高く、常に新たな挑戦を行ってまいります。

■加工食品事業■

加工食品事業の次期の業績につきましては、次の通り計画しております。

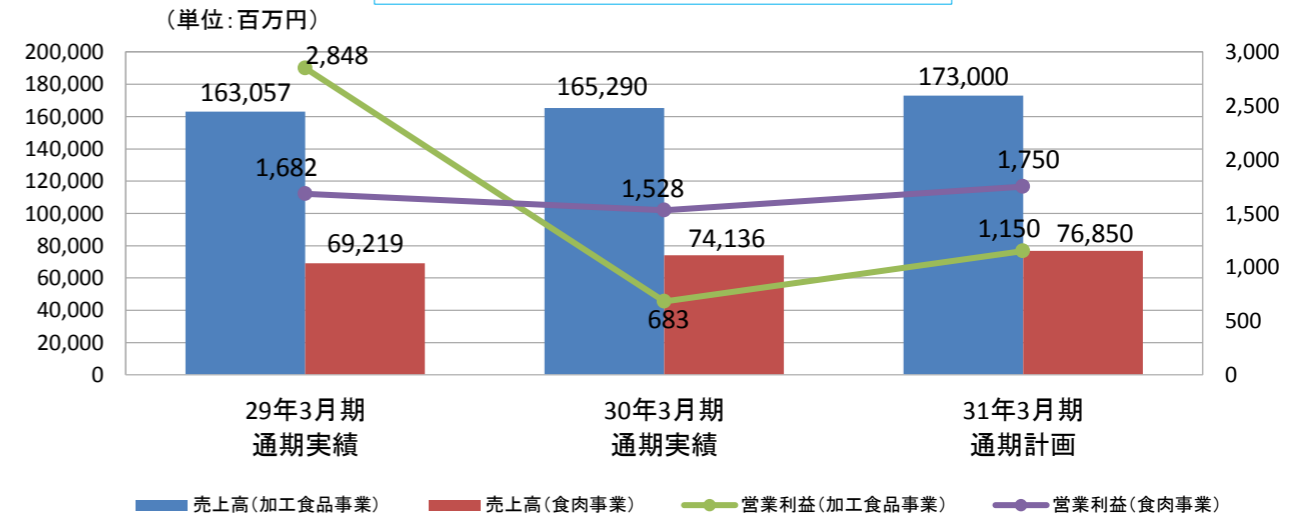
売上高 1,730億円 (前年同期比 4.7%増)
営業利益 11億50百万円 (前年同期比 68.2%増)

■食肉事業■

食肉事業の次期の業績につきましては、次の通り計画しております。

売上高 768億50百万円 (前年同期比 3.7%増)
営業利益 17億50百万円 (前年同期比 14.5%増)

セグメント別 売上高、営業利益見通し



中期経営計画の進捗(平成29年4月～平成32年3月)

■三カ年数値計画の進捗■

(単位:百万円)

	30年3月期 実績	31年3月期 計画	32年3月期 計画
売上高	239,586	250,000	260,000
中期経営計画	240,000	250,000	
営業利益	2,370	3,000	6,500
中期経営計画	5,000	5,300	
経常利益	2,820	3,300	6,700
中期経営計画	5,400	5,600	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,842	2,100	4,200
中期経営計画	3,300	3,500	

■セグメント別計画の進捗■

(単位:百万円)

	30年3月期 実績	31年3月期 計画	32年3月期 計画
加工食品事業	165,290	173,000	187,000
中期経営計画	170,000	179,500	
食肉事業	74,136	76,850	72,800
中期経営計画	69,800	70,300	
その他	159	150	200
売上高合計	239,586	250,000	260,000

■経営理念■

日々の活動に精一杯の真心を込め、誠意を尽くすことにより、社会に貢献します。

■基本方針■

1. 基幹事業の拡大と次なる柱の育成
－既存事業の育成・強化と新規分野への参入－
2. 商品開発力、技術力の強化
－グループ間技術力の向上と商品開発力の強化－
3. ローコスト経営の促進
－企業体質の強化と収益の見える化－
4. 人材の育成
－人事制度の再構築と従業員のスキルアップ－
5. 社会的責任の遂行
－ガバナンス体制の強化とリスク管理の徹底－

■カテゴリ別戦略■

【加工食品事業】

お客様のニーズを満たした品揃えや、素材や工程など安全性を徹底的に追求し、魅力ある商品をお届けいたします。また、多様化するライフスタイルに合わせて調理の利便性を高め、お客様が食べる楽しさを感じて頂けるよう、取り組んでまいります。

◆ハム・ソーセージ部門◆

- ①市場データを分析し、お客様に受け入れられる商品創りの推進
- ②技術力の研鑽を重ね、新しい価値の創造
- ③徹底した合理化と、コスト競争力の向上

◆調理加工食品部門◆

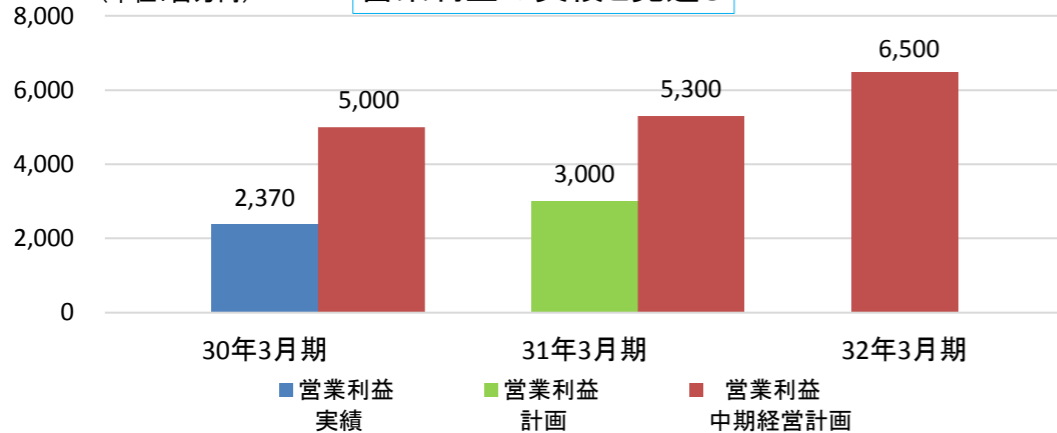
- ①市場動向に即したスピーディーな商品開発と、「美味しさ」の追求
- ②日配部門向け商品の拡大、冷凍食品などの新規カテゴリへのチャレンジ
- ③ベンダー事業の拡大

【食肉事業】

安全で高品質なものを厳選し、素材の特徴を生かした新鮮な商品をお届けします。また、お客様のニーズに対応した商品へと加工し、量販店や外食店等、様々なチャネルのお客様のご要望にお応えできるよう、取り組んでまいります。

- ①畜種ごとのブランド戦略の確立
- ②お客様のニーズに応え、付加価値の高い商品の提供

(単位:百万円) 営業利益の実績と見通し



※ 31年3月期計画は見通し、32年3月期計画は中期経営計画の数値を表示しております。



加工食品
事業
調理加工食品部門

丸大食品

さらに「ジューシー」

熟成ならではの旨み
ジューシーな味わい

燻製屋
熟成あらびき
ポークウインナー

燻製屋
熟成あらびき
ポークウインナー

丸大食品

忙しい朝にピッタリ!

朝ハレ
朝から晴れやかに

さらっと便利な
ジッパー付き
あらびき
ウインナー

さっと便利
ジッパー付き
あらびき
ウインナー

パンやサラダに
よく合う!
うす切り
ホワイト
ローズ

丸大食品

食感にこだわりました。

ドイツアルプス産岩塩使用

パリッとした食感

JAS 上級

丸大食品

大きくなれよ
丸大ハンバーグ

おいしさずっと、
これからも。

40th Anniversary
Since 1978

チキンハンバーグ

おかげさまで40周年

丸大食品

王覇
最高金賞

ホワイトローズハム
熟成

丸大食品

煌彩
最高金賞

ローズハム
特撰

ホワイトローズハム
特撰

黒胡椒ミートローフ

あぶり焼ハーブローフ

丸大食品

韓国家庭料理
ごはんのおかず

スンドゥブ

豆腐があれば
すぐできる

2016年スンドゥブの
売上 No.1

NEW

丸大食品

Salad Chicken

サラダチキン
シリーズ

切崩しシリーズ

ブロックシリーズ

チキンで
サラダを
楽しもう!

丸大食品

ピストロ倶楽部

ビーフカレー

51種類のブレンドスパイス使用

あめ色玉ねぎのゴクと牛肉の
旨みが味わい深いカレーです。

甘口 中辛 辛口

丸大食品

タピオカ
タイム

もちもち楽しい!

丸大食品

ジュレノパルフェ

味と食感の変化が楽しめる
こだわりの3層仕立て!

丸大食品

SWEET CAFÉ

ふるふるゼリー×クリーミーソース

カフェでつくるような時間を……



marudai 丸大食品

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。